

## 1. 製品および会社情報

## 製 品 名

カントールCa

## 販売者情報

会 社 名：株式会社関東保全サービス  
住 所：埼玉県富士見ふじみ野西4-3-3  
電話番号：049-264-7431

## 製造者情報

会 社 名：株式会社ヘルスビューティー  
住 所：愛知県名古屋市南区菊住二丁目5番8号  
電話番号：052-618-7558  
F A X：052-821-0919

製造所名：株式会社ヘルスビューティー 常滑工場  
住 所：愛知県常滑市久米字池田179  
電話番号：0569-43-9111  
F A X：0569-43-0039

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性 : 急性毒性（経口） : 区分外  
: 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2  
: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

環境に対する有害性 : 水生環境有害性（急性） : 区分3  
: 水生環境有害性（長期間） : 区分3

上記に記載のない危険有害性区分は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

## GHSラベル要素



絵表示又はシンボル：

注意喚起語 : 警告  
危険有害性情報 : 皮膚刺激  
: 強い眼刺激  
: 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

- 【安全対策】 : 取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。  
: 環境への放出を避けて下さい。  
: 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しないこと。  
: 作業時は必ず防護メガネ、炊事用ゴム手袋、マスクを着用して下さい。
- 【救急処置】 : 飲み込んだ場合は、すぐに口をすすぎ、多量の水や牛乳、生卵を飲ませて  
ください。無理に吐かせないで速やかに医師の診断を受けてください。  
: 目に入った場合は、直ちによく水で洗って下さい。コンタクトレンズをご  
使用の場合は、はずしてから洗眼し、速やかに医師の診断を受けて下さい。  
: 皮膚に付いた場合は、流水でよく洗い流して下さい。
- 【保管】 : 密封した後、高温多湿の場所を避け、直射日光が当たらない冷暗所に  
保管する。

---

3. 組成及び成分表示

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物  
官報公示整理番号（化審法） : 有り  
官報公示整理番号（安衛法） : 有り

成分及び含有量

成分	含有量 (%)	CAS 番号
有機酸	非公開	非公開
無機酸	非公開	非公開

---

4. 応急処置

- 眼に入った場合 直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分以上洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。  
製品に触れた部分を流水にてぬめり感が無くなるまで洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合、速やかに医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 鼻をかみ、うがいをさせる。被災者を新鮮な空気の場合所に移動させ安静にした後、速やかに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

---

5. 火災時の処置

- |      |                 |
|------|-----------------|
| 保護具  | 一般慣例に従う         |
| 消火方法 | 消火剤を用いて風上から消火する |
| 消火剤  | 水、二酸化炭素、泡、粉末    |



---

10. 安定性及び反応性	引火点	不燃
	発火性	無し
	爆発限界	上限：データ無し（原材料の性質より爆発性はないものと考えられる） 下限：データ無し（原材料の性質より爆発性はないものと考えられる）
	可燃性	無し
	酸化性	有り
	自己反応性・ 爆発性	データ無し（原材料の性質より自己反応性・爆発性は無いものと考えられる）
	安定性・反応性	通常取り扱い条件下で安定
	金属腐食性	本品の水溶液は金属腐食性を有する。
	その他の情報	特記事項無し

---

11. 有害性情報	皮膚腐食性	やけど（葉傷）を起こすことがある。
	皮膚刺激性	刺激性有り
	眼刺激性	粘膜が刺激され、失明することがある。
	感作性	データ無し
	急性毒性	データ無し
	亜急性毒性	データ無し
	慢性毒性	データ無し
	ガン原性	データ無し
	変異原性	データ無し
	生殖毒性 催奇形性	データ無し

---

12. 環境影響情報	分解性	自然界で分解される。
	蓄積性	認められていない。
	魚毒性	データ無し
	その他情報	製品・高濃度の溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。

---

13. 廃棄上の注意	<p>攪拌しながら徐々に石灰乳などの溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して流す。</p> <p>製品の容器及び包装は自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。</p>
------------	--

---

14. 輸送上の注意	<p>容器の破損、漏れのないことを確かめる。</p> <p>荷崩れ防止を確実にを行う。</p> <p>該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。</p> <p>液漏れ及び直射日光を避ける。</p> <p>酸化剤、還元剤、塩素化合物、アルカリ製剤に接触しないようにする。</p>
------------	---

---

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
毒・劇物取締法	非該当
消防法	非該当
化学物質管理促進法	非該当

---

16. その他	事故・災害事例 問い合わせ先 引用文献	記載される情報はない。 製造者情報の項を参照。 「製品安全データシートの作成指針」 (社) 日本化学工業協会編 「GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局
---------	---------------------------	--

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。  
使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。